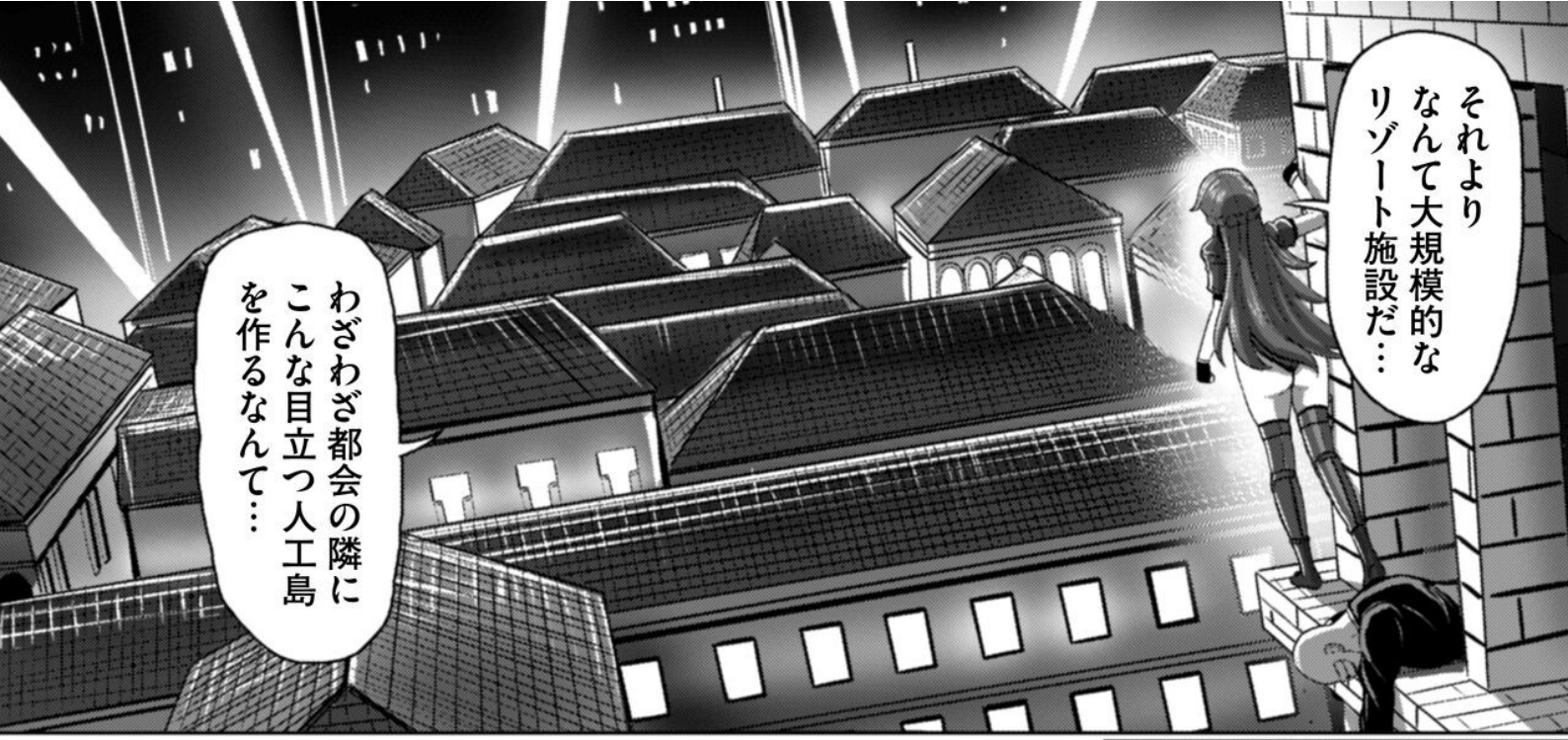
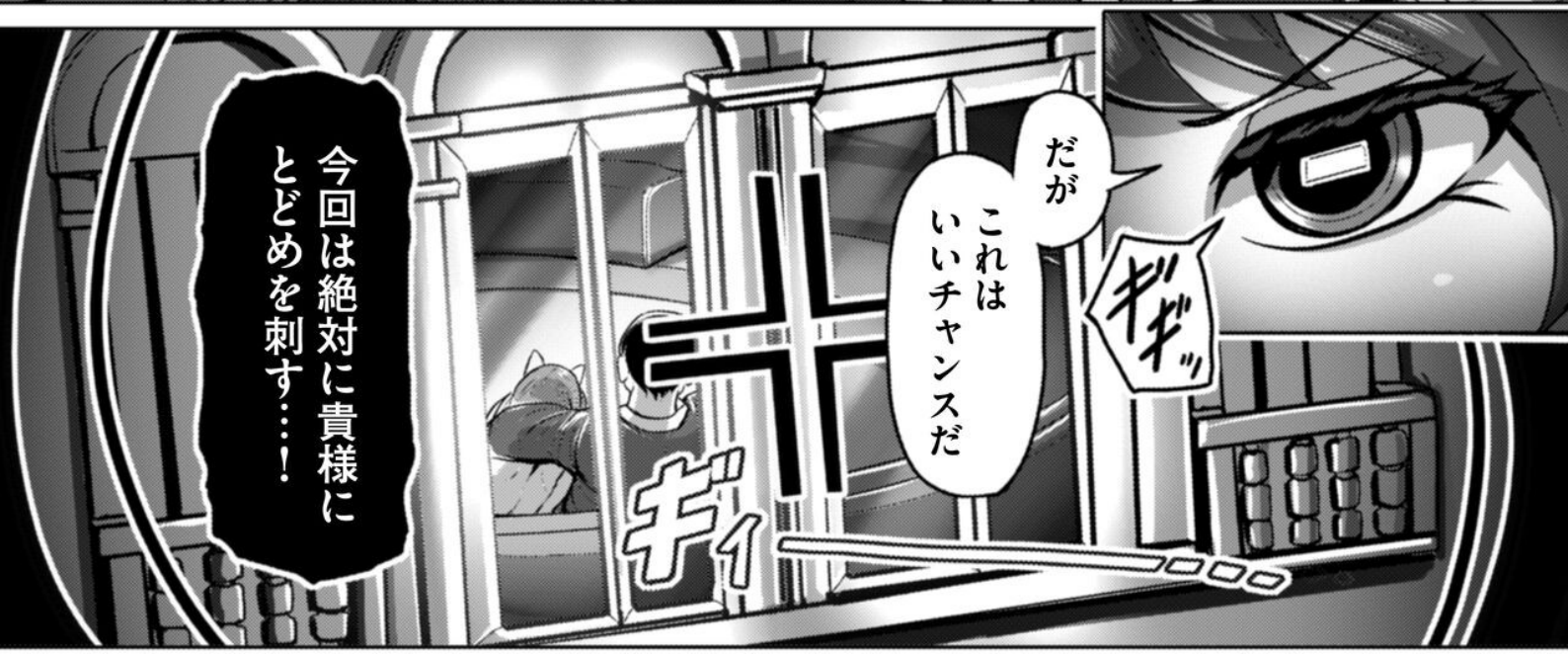
りふれほコミック
エージェント夜を逝く
特権階級で復讐対象の
竿役に調教され屈辱の
快楽堕ちセックス
COMIC
ヤルク
R18
成人向け
FOR ADULT ONLY
18歳未満の
購入・閲覧禁止
復讐を誓った
ヒロインが
捕縛され酒池肉林の
快楽堕ちセックス！

ふう…
なかなかやるな
あんた…
ビリィルル…
1!!
はッ
サイボーグのくせに
男をめちゃ
イキさせるなんて
めったにないことだぜ
あんたは…
うふふ
これはどうも♥

うちのボスは
きっとあんたを
気に入るだろう…
ズニ
ほら約束通り
電子脳にうちの
アジトの位置を
転送する
あんたのような
絶倫サイボーグなら
きっと大歓迎だぜ
イッ
ハッ
ありがとう…
助かるわ
これで
君のボスと
顔を合わせられるのよね？
そこの支配人だから
会えるはずだぜ
そう
素晴らしいわ…
シャキン
じゃあ君は
もう用済みね
さよなら♥

カタッ
カツッ
カタ・・・
位置に着いたわ
ラ・・・
まったく
ここのセキュリティ
思ったよりに散漫だ


それより
なんて大規模的な
リゾート施設だ…
わざわざ都会の隣に
こんな目立つ人工島
を作るなんて…


だが
これは
いいチャンスだ
今回は絶対に貴様に
とどめを刺す…！
ギギッ
ギィ

も～市長さん本当
いたずらっ子ですね
そんなに
ち ち揉むが好き～？
なに言ってるんだ
こんなけしからん
ボディを持つ方が
悪いだろ～
ハハハッ
もろ
むち

市長さん～
忙しくてもお酒飲むの
忘れないでね♥
ん～ワインは
もう沢山だけどな…
そうだ
酔い覚ましに
君が美味しいミルク
を出すのはどうだ？
やだぁ
私は可愛いウサギですよ
乳牛じゃないです～♥
すまないなぁー
今夜も貴社のサービスを
提供してもらって
おお
これはこれは
支配人の
フラミンゴくん
ではないか！
お邪魔します
今夜も存分に
楽しんでいますね
市長様

犯罪組織の幹部フラミンゴ…！
こんな所に隠れてるとはね
ところで例の用地仕入の件は…
心配すんなもう貴社に有利になるよう手配したよ
手を汚さない闇仲介もやってるのか

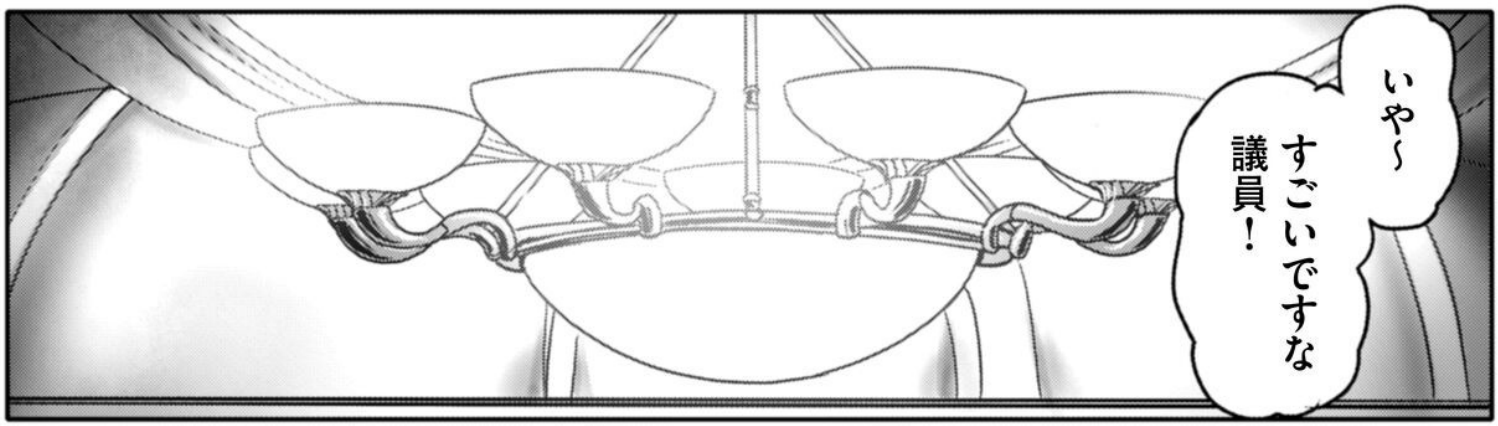
わたしはかつて官僚の家庭で生まれ育てられていたが
ある日暗殺事件が起こって全てを失ってしまった

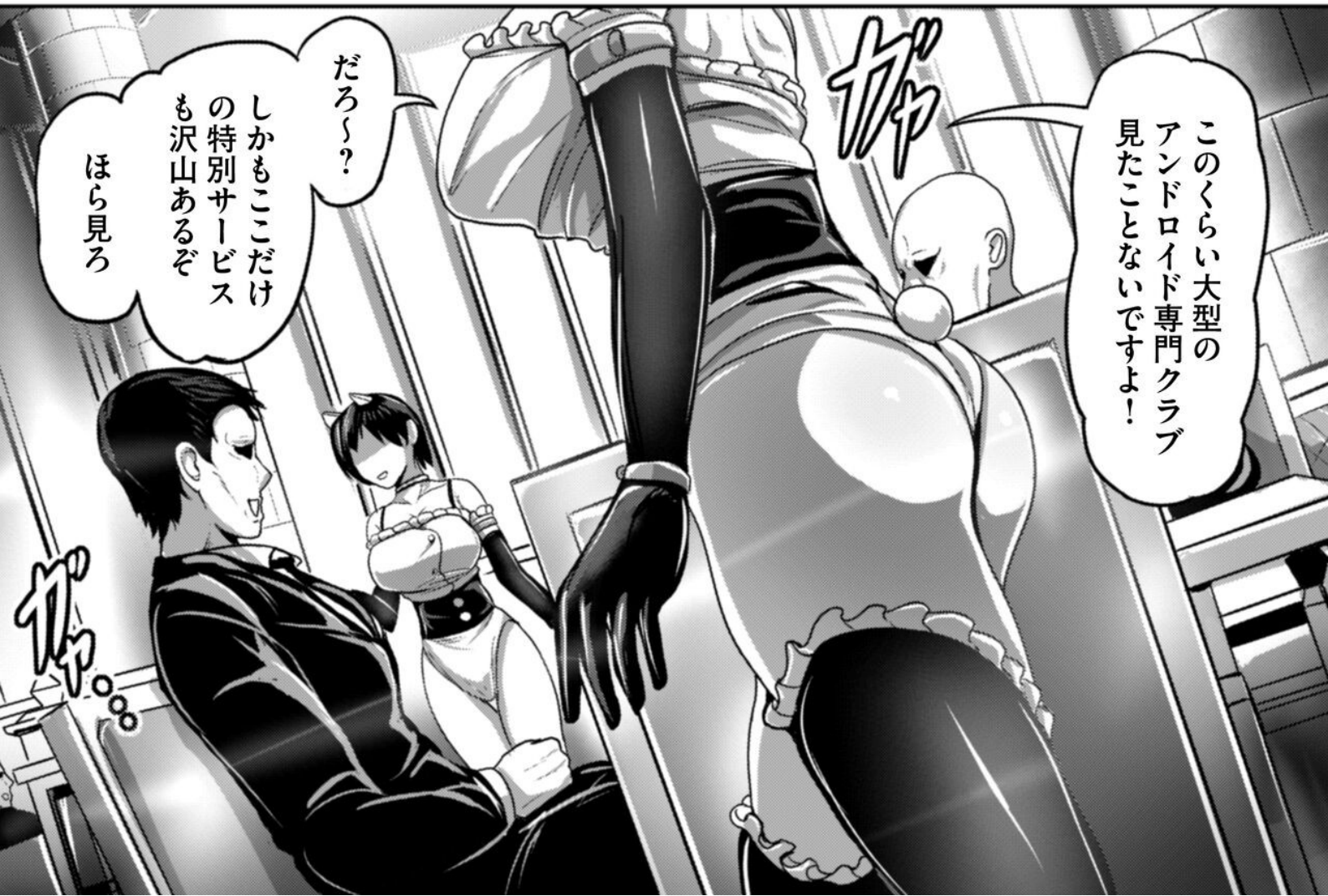
あの時両親を殺害し愛する妹も拉致した貴様の憎い姿
いまだ忘れず毎日夢に出てくる…

唯一の生存者である
私は絶望していた時
再び立ち上がる
チャンスを得た
それは全身を機械化技術で
治療と強化して
政府の防諜と対凶悪犯罪機関の
サイボーグエージェントとして
私は生まれ変わった
法を超越する権限と
戦闘能力が
付与されている私は
任務を遂行しつつ
私の幸せを奪った
者達に復讐する時
をずっと待ってる

あっ
フラミンゴくん！
口から唾が…
ドロ…
！
申し訳ないです
古い傷がまた…
大変だなぁ
君みたいな
勤勉な商人が
反体制暗殺の標的
になるなんて
本当に
信じられんな
まったく
その通り
ですね…
ハァ…
一刻も早く残虐な
犯人と黒幕を逮捕して
ほしいと心より願います
では夜はまだ長いので
ごゆっくり
過ごしてください
私はパーティー会場
の視察に行きます
よし
もっと接近
できるように
移動しよう

狙撃や爆殺でも
貴様を仕留められないなら
近距離で確実に
やればいいんだ…!!
ダッ!!!


いや～
すごいですな
議員！

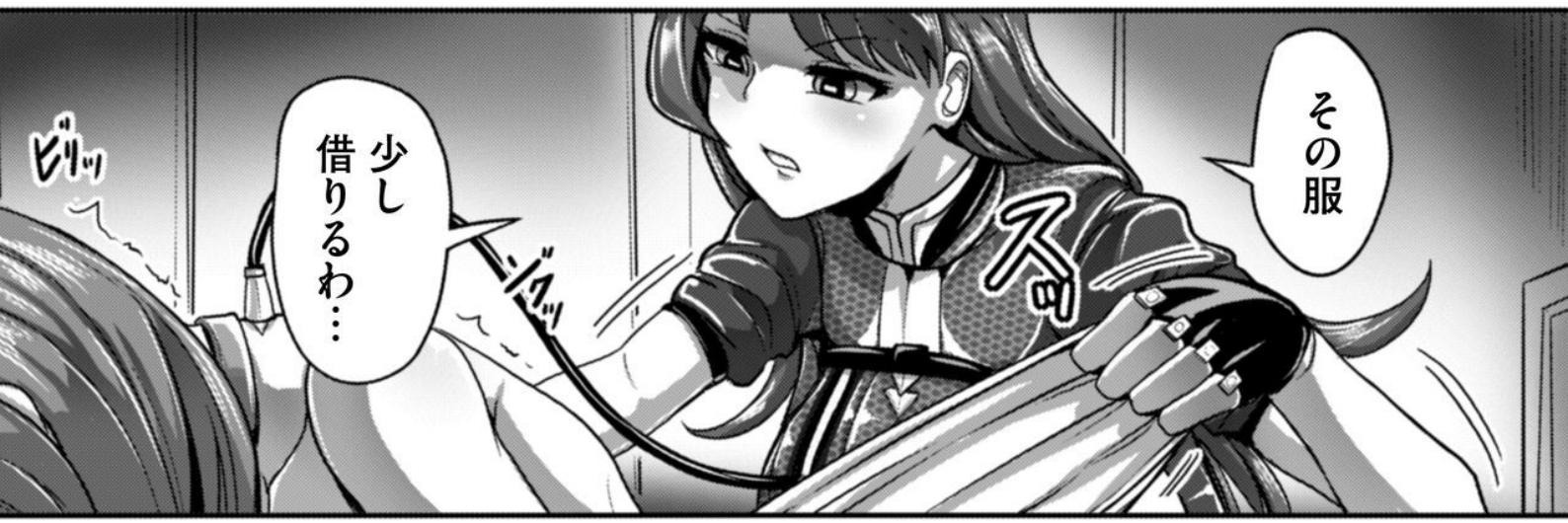

このくらい大型の
アンドロイド専門クラブ
見たことないですよ！
ガヤ
だろ～？
しかもここだけ
の特別サービス
も沢山あるぞ
ほら見ろ
ガヤ…

おい
そこの君
はい！
酒をおかわり
したいんだ
なんとかして
くれないか？
了解しました
お任せください！
!?
これは1980年代の
上質な白ワインです
ん♥
少し母乳の味が
混ざっていますが
何卒
ご容赦ください…♥
もみ
むちゅ

面白いですね～！
お酒がおっぱいから出てくるなんてw
だろ？何回見ても飽きないトリックだわ
ハハハッ
ビクッ
ゴクッ
ゴキュ
あん♥
もーお客様
このエリアでこれ以上のサービスはやってませんよ～♥
ジクッ
おいどうした？あまり出ないじゃないか
ダラ…
ドロ…
申し訳ないです酒の残量がなくなります！
ハア…
しかたねえな…さっさと行って来いよ
一旦補充しに行きます…

ブロン
ズ…
ボヨン
カチッ
!!
ナ…
ビリ
ビリ
…?
?
ブヨッ
ふん…

これは…かなりハイクオリティの人形(アンドロイド)だ
見たことないタイプだけどこのリゾート設施専用の特注型か？
ビリッ
アッ
ヴッ
ビクッ
ビクッ


その服
少し借りるわ…
ビリッ
スッ
ジクッ

おいそこ
また新しい子出てくるぞ
ほほう
かなり美人のタイプではないか～
コタッ
コタッ
さわ…
さわ…

なんとか無事に潜入したわ
あとはターゲットとタイミングを待つだけ…
コタ…
コタッ
だがこいつらの目線とてもうっとうしい…
…
ほほう
もしかして怪しまれている？
やっぱり長居は禁物だ…
チラッ
チラッ
ちょっとそこのあんた
!!
…私ですか？
そうだこっちにおいでよ

おかわりだ
おっぱいを出せ
な…!?
なんだ?
はやくやれよ
はわっ
はわっ
いいえ
自分まだ新入り
ですからよく
わかりません…
あ?
ロボットのくせに
なに言い訳
してるんだ
まったく
ブッ
ブッ
ひっ!!
プルン

くっ
こいつら…！
おいこら
数滴しか出てない
じゃないか！
こんな性癖遊び
と付き合う暇
などないのに…！
ビグッ
顔は綺麗なのに
なんか乳房は他の子
よりちっちゃいな…
ぐにゃ
むにゃ
ビグッ
手を出したら
バレるわ…
我慢しないと…！
じゅる
おにゃ
じゅる
おや
!!
どうしましたか
お客様？

うちの従業員が
お客様になにかご迷惑を？
まずい…！こんな時にくるなんて…
丁度いいこいつですよ支配人さん
こっちの話をあまり聞かないんだ故障したのか？
お？
おかしいですねうちの子はちゃんと毎日最適状態まで調整しまして
いかんかなり疑われている…
命令とSOPを遵守しない状況は起きないはずですか…
Bi Bi
ご主人様異常報告があります
どうした？言え

トイレに機能停止のアンドロイドを発見しました
?
このエリアに配備してるアンドロイドと確認できましたが
制服を着用してない裸の状態です
ほう…
ヒクッ
ドロ…
どうやら可愛いネズミがうちに紛れ込んでいるね…
ゴゴゴ…
顔を見せろ今すぐだ
もうだめか…!
クソッやるしかない!!
ヌギッ

なるほど…
あの議員一家の生き残りのお嬢ちゃんか
黙りなさい！
貴様をここで終わらせるわ…！
!?
ヴィィ～！
お？
お前は確か…
地獄に落ちろ!!

ご主人様を
ぎゅぎゅ…
傷つけさせないわ…！
う…！
邪魔だこの人形
そこをどけ！
愛玩用人形で自分の身を守るなんて…
情けないぞ幹部フラミンゴ！
ビグッ
フン情けないか…

好きにせい
俺はもう手を汚されたくない主義だ
ハァ…
それよりちゃんと見ろお前がいま殴ったやつは
はたしてただの人形なのか？
なんだと…？
な…
ミライちゃん…!?
…？
うそでしょう…
おっとこのやっちまった顔…
どうした？さっきまでの気焔は？もっと殴っていいぞ？

ミライちゃん
私だ！
君の
姉さんだ!!
ひぃ…！
どうして
ここに…
フラミンゴ
貴様…！
彼女を
なにをした!?
ビリ
ビリ
ドス
さ…
触らないで!!
えっ
ミライちゃん…？
ビリリ…

残念だが
お前の可愛い妹
だった女は…
もう俺の
頼もしい僕
になった
ボス
お客様の避難が
完了しました！
まったく
後始末がなかなか
めんどうになるぞ
まあいい
もっと良い
収穫を得たし…

よし
次は今日のノルマが
達成できなかった分…
オラァ!!
…!!
おいおい
ほぼ反応ないじゃん
サンドバック打ち
よりつまらんぞ
それだから
お前みたいな
全身義体使いはね…
……
気軽に痛覚を
遮断できる機能は
ずるくな〜い？

お前がやったんだろ？
半年前俺の顔半分を吹っ飛ばした弾丸…
ドロ…
ペッ
その痛みと屈辱
お前にも存分に味わわせてやりたいのにな…
フン…
お互い様
あの狙撃が貴様の頭をスイカのように粉砕したら良かったのに
ボス
例のプログラム準備終わった！
ボス愛用のガキに持って行かせます
おう
分かった
ボロン
じゃあ本番の前に俺も少し試してみよう
ハァ…
政府の雌犬のマンコはどんな感じで強化されたのか…！
ビキビキ

しかし
中々スケベな
ボディだな
この義体はお前
自分で選ぶのか？
破廉恥なお嬢さんかよ
クソ 身体が
出力制限のせいで
上手く動かない…
とりあえず
身体検査するぜ～
まずはこの
豊満な唇だ
!?!?
ムむっ
目の前の刺客と
キスだと!?
どんなイカレ具合だ！
ぐっ！
そうか
こいつは
私を玩具のように
遊び放題する
つもりだ…
ぢゅる
ちゅぱ

ビグッ
ビグッ
ポリッ
ポリッ
ゲロより臭いわ
この体臭と唾液…！
ヴゥるるるね…♥
いますぐ三途の川に
落としてやるから
そこで永遠に
洗われてろ！
ビッ
ビッ

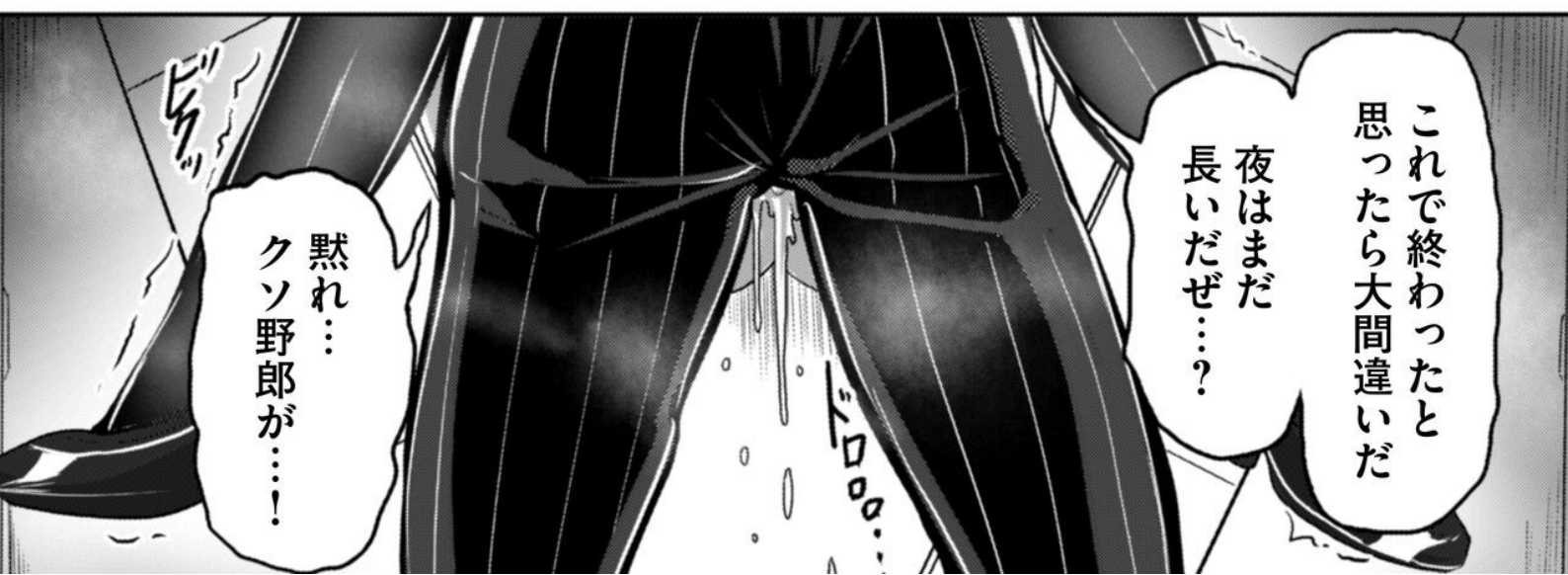
ふわ～!!
いい香りだ
最高の気持ちだぜ！

おっと
見ろよ…
下がいつのまにか
もうこんなに
ビンビンになった
ビギギ
ビギッ
これはお前が
上級品である証明だ
ちゃんと喜べ

うちは最近
新しい風俗区の
開催を準備中だ
だから母乳を
出せるだけじゃなく
本番も上手くやれる
人手が欲しいんだよ
クソ
ふざけやがって…
オラァ
下の口を
遠慮なく
楽しもうぜ！
ほほう
膣の締め加減は
丁度いいじゃん
まるで俺の
ちんぽを歓迎
してるみてぇだ～
仇敵に辱められるなんて
最悪な展開だ…！

お前の暗殺のせいで
俺はもう組織の
外仕事に向いた身体
じゃないから
あっ
パン
パン
うるさいわ！
こういう風に
精力を消化する
しかねぇのよ
パン
ズッ
ズッ
私の身体は…
貴様の汚い肉棒を
入れるものではない…!!
パチッ
だから今夜は
たっぷり種付け
してやるぜ…
覚悟しとけ！
はっ
ずぶ
ぬぷっ
やっ…
やめ…
ズッ
パン
ズル

ぬぽっ
ずるっ
クッ
ぐんぐん…!!
さて
まずは挨拶の
第一発だ
お前の子宮で
全部受け止めろ!!
ゾクッ
ぐぼっ
ぐぼっ


これで終わったと
思ったら大間違いだ
夜はまだ
長いだぜ…?
ビクッ
ドロロ…
黙れ…
クソ野郎が…!

例のブツ
持ってきましたよ
ご主人様
!?
おっ
丁度いい
タイミングだ
ミライちゃん…！
どうしてここに…
ククッ
せっかくだから
一緒に遊ぶに
決まってんだろ
貴様…！
気軽に私の
名前を呼ばないで！
侵入者のくせに
何様のつもりなのよ
観察期間もなく
すぐこの女を「玩具」
にするんですか？
危なくないですか？
問題ないから
心配すんな

目を覚ましなさいミライちゃん…！
君はこんな悪い子じゃなかったはずだ！
だから誰なのよあんたは…
私は昔からご主人様と組織の愛されてる玩具だよ
ポニ
ブシュ
うっ…
カチッ
そしてあんたもこれから
私達の一員になるのよ
今のはなに？悪意ソフトウェアか!?
よし…すぐ効くはずだ
楽しみですわウフフ♥
こんなもの私の軍用ファイアウォールで簡単に抵抗できる…

くっ
あぁぁん
ビギ
あはは
胸がめちゃ
大きくなった♥
ビッ
バカな…!
身体の分泌と感度設定
が勝手に変更された!?
何も知らずに
やられるのは
気の毒すぎるから
説明してやる…
俺がさっき射精した
ザーメンに含まれる
ナノマシンが
さっきの『ブツ』
が発信した信号で
活性化して
お前の子宮から
電子脳まで
弄り始めた

ほら 感度が一瞬で数百倍になった気持ちはどうだ？
少し触っただけで打ち上げられた魚みたいに跳ねてるぜ

そしていまお前の頭から凄い熱が出てるだろ？
それはナノマシンがお前の電子脳内部の邪魔な部分を物理的に分解しつつ
俺が欲しい方向に再構築してるからだ

まずい
意識が…
こら
集中しな
さいよ
さっきも
言ったよな
俺は外勤から
リタイアってこと
ナノマシン
唯一の欠点は
直接注射しないと
効果が発揮
できないことだ
だから人使いの
荒いうちの組織は
俺のちんこと
金玉袋を改造して
『種馬』兼支配人
として再就職させた
ナノマシンのおかけで
キラキラしてる俺の
ちんこをよく見たまえ
めっちゃド派手な
マグナムだろォ？
これからお前が
どうなるのか
教えてやるぜ…

電子脳化改造をやった奴に対してナノマシンはまるで最高の催眠術だ
うちに拉致された女にこの『種付け』マジックと機械化改造を施したら
どいつもこいつも忠実な子犬ちゃんになるぞ
お前も見ただろリゾート設施のアンドロイドたち
あいつら元々全員あんたのような人間だったんだぜ
ひゃん
みっ
ミライちゃんもそうやって…!?
そうさしかもこいつは名誉な第一号だぞ
そして次はついにお前の番だ…!!

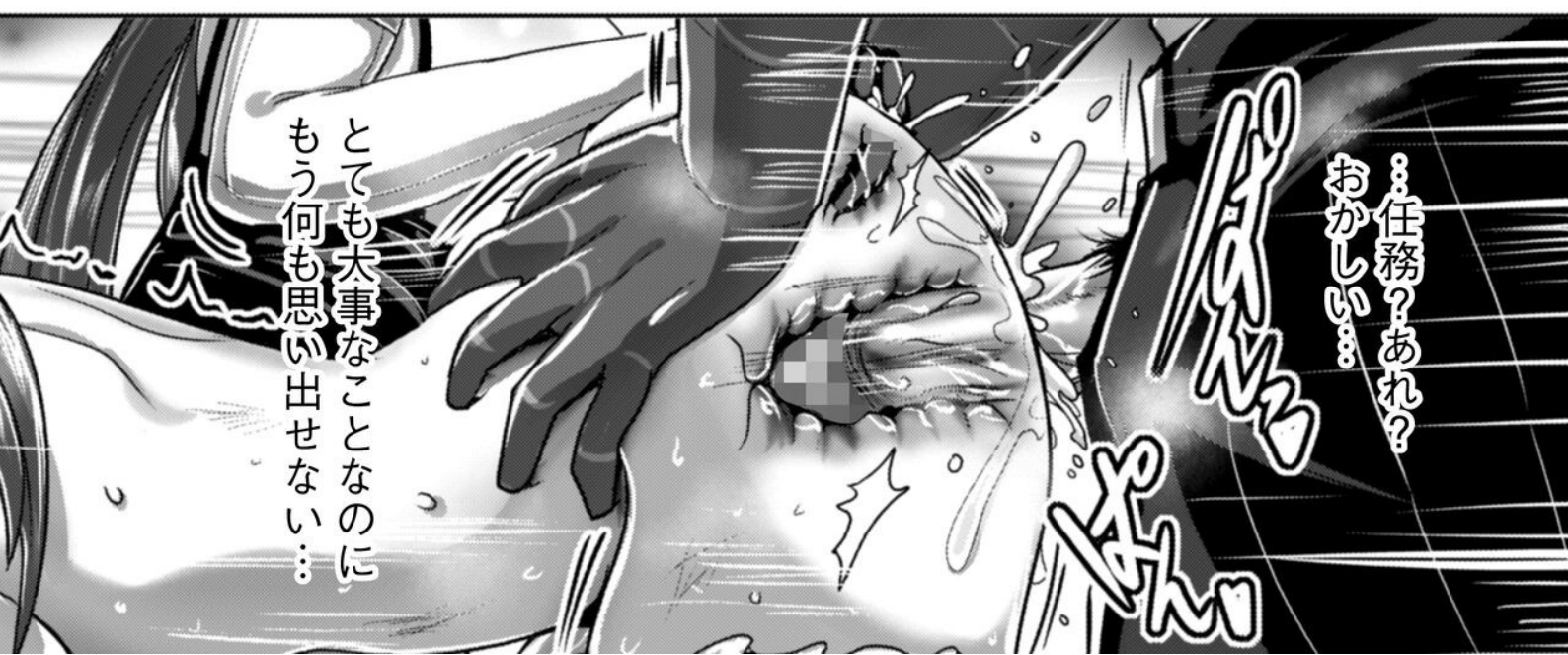
駄目だ
我慢できない…！
あん♥
ぷしゃ
ぴくっ
わあ
情けない声めちゃ
上がってますね
この女♥
感度が数百倍
に設定された
だけじゃない
脳内が
快楽ばかりに
なっちゃう!!
どうだ
気持ち良い
だろ～？
ギー
あん♥
いまお前の
思考能力は
どんどん失って
楽しい感情を
残すだけだ
バタン

じゃあせめて
お前が生まれ
変わる前に
パン
ドクン
嫌だ…！
一回昇天させて
お餞別に
しようぜ…！
ズブ
ボグ
こうなるはず
じゃなかった…！

身体が燃えるように
熱くなってるし
私にもやらせて
くださいよ
ご主人様！
さっき私の顔を
蹴ったお礼を倍返し
したいんですわ
もちろんさ
好きにやれ
愛する妹が
仇敵と一緒に自分を
レイプするなんて…!!
パン
イヒヒッ

じゃあこの穴は任せて！
卑怯だ…おマンコとアナルを同時責めるなんて…
早く堕ちなさいよ
ご主人様の貴重な精液をこれ以上浪費しないで！
なんだよ俺はまだ楽しんでいるのに

刺激と快感のせいで意識が混濁してる…
だって今夜のご主人様の相手はもとも私なのに～
しかたねえなーじゃあ後で姉妹丼もするぜ
しっかりしないと…！私はまだ重要な任務を果たさなきゃ…


…任務？あれ？おかしい…
とても大事なことなのにもう何も思い出せない…

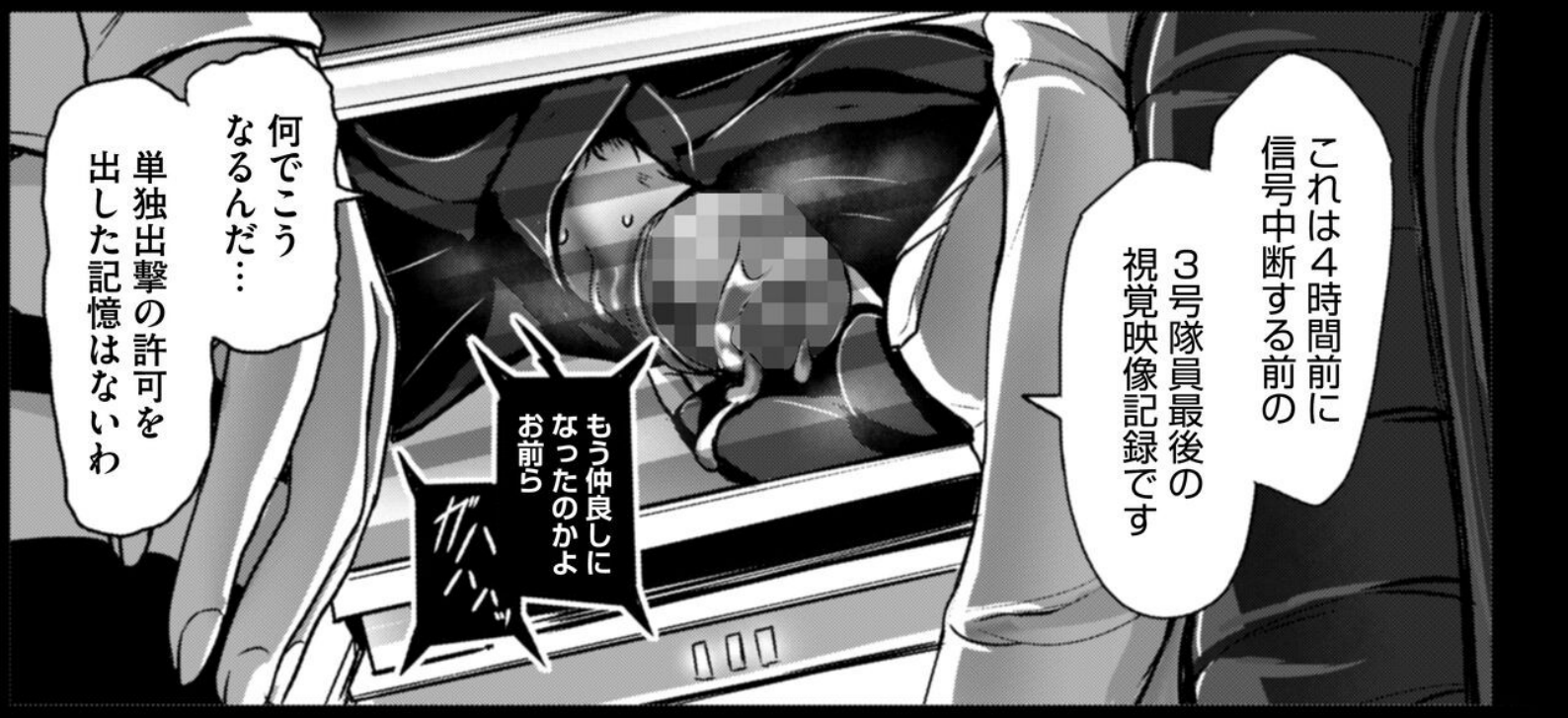
そんなことより…
もっと快感を
味わいたい…！
パンッ
パンッ
パンッ
もっと…
もっと
ねえ…!!
みてみて
この表情
痴女みたいな
気持ち悪い笑い
をしてますわ～♥
あーあ
思ったより
早く壊れたな
でも心配すんな
あとでしっかり
人格を再構築して
あげるからな
あな
ズンッ
ズンッ
その前に約束を
果たして
盛大な
ラストショットを
あげなきゃねぇ…！
ぐぼっ
ぐぼっ

あんあんあん!!
ビクビク
ビグビグ
ビグビグ

―へい会長
こいつの脳内メモリーを簡易スキャンしました
政府のモグラリスト以外いろんな役に立つ機密情報があった
大豊作ですぜ

この女はどうするって？
まあ…一応俺と少し因縁ある相手だったから
勲章として自分の専用肉便器にしますわ
ビグッ
ペルッ
アハッ ちんぽ♥
ぱん♥
ぷっ
ビクッ
いやーこれでうちも暫く安泰ですな
ダダ…
ぶれ
めでたしめでたし…

ほら
もっと頑張って
舐めなさいよ
さもないとアタシが
ご主人様のおちんぽ
を独占するわよ♥
はい♥


これは4時間前に
信号中断する前の
3号隊員最後の
視覚映像記録です
何でこう
なるんだ…
単独出撃の許可を
出した記憶はないわ
もう仲良しに
なったのかよ
お前ら
ガハハハッ

おそらく
3号隊員個人的な
感情によるもので
勝手に行動をした
と判断しています
ぐぎぎ…
この愚かな小娘…！
だから私はずっと
特殊な過去を持つ人
を入隊させることに
反対していたのだ…

どうなさいますか？
決まってるだろ
これが我々治外対応課が早急に解決せねばならない緊急事態だ
速やかに手が空いているエージェントを召集しろ！
了解いたしました
こんな醜態が上に知られたら
この課と私の努力と地位が危なくなるわ…！
グムム…